

アイケー通信（初版号）発行に伴い 一言ご挨拶させていただきます



アイケー通信

初版号

時代も流れ、元号も平成から令和に変わり、今後のアイケーが、皆様方により信頼を頂ける保険代理店といたしまして今まで通り末永く、ご愛顧頂けますように、原点回帰を心がける意味でアイケー通信を発行することになりました。

平成3年インシュアランス・カミタニからスタートしてから28年が過ぎました。この28年間、保険業界も激しい変貌を遂げて参りました。弊社も社名の変更、社長交代など、今後の保険業界の大変化に備えて色々と内部充実を進めている最中です。そこで、現在のスタッフの紹介と共に、今考えていることや今取り組んでいることなど、この紙面を通じてお伝えできればと思っています。

高居 J r 損保ジャパンで研修中

スタッフ紹介



高居

白石

船附

中村

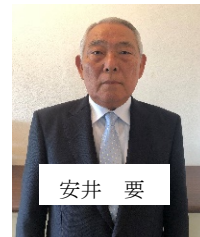
長野

神谷

横田



高居 哲也



安井 要



安井 慎治

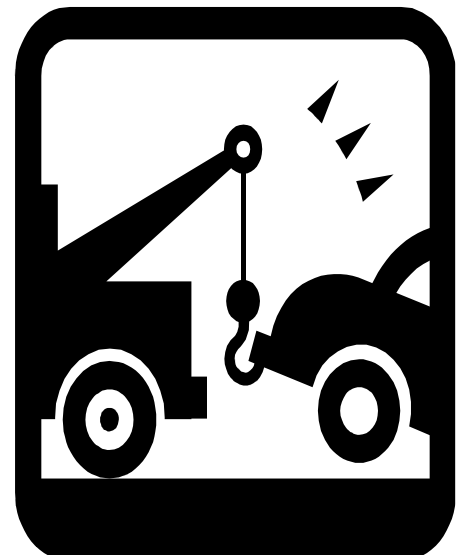
2020 年合流予定

初版号と致しまして、今号は少し厳しい内容になりましたが、社会問題にもなっています、高齢者ドライバーと認知症の関連性を取り上げました。

超高齢社会が進行し、高齢者人口は年々増加、認知症高齢者も増加の一途をたどっています。

アイケーも自動車保険を通じて、事故を起こさない運転、すなわち安全運転とは、今一度考えたいと思っています。

（裏面に掲載）

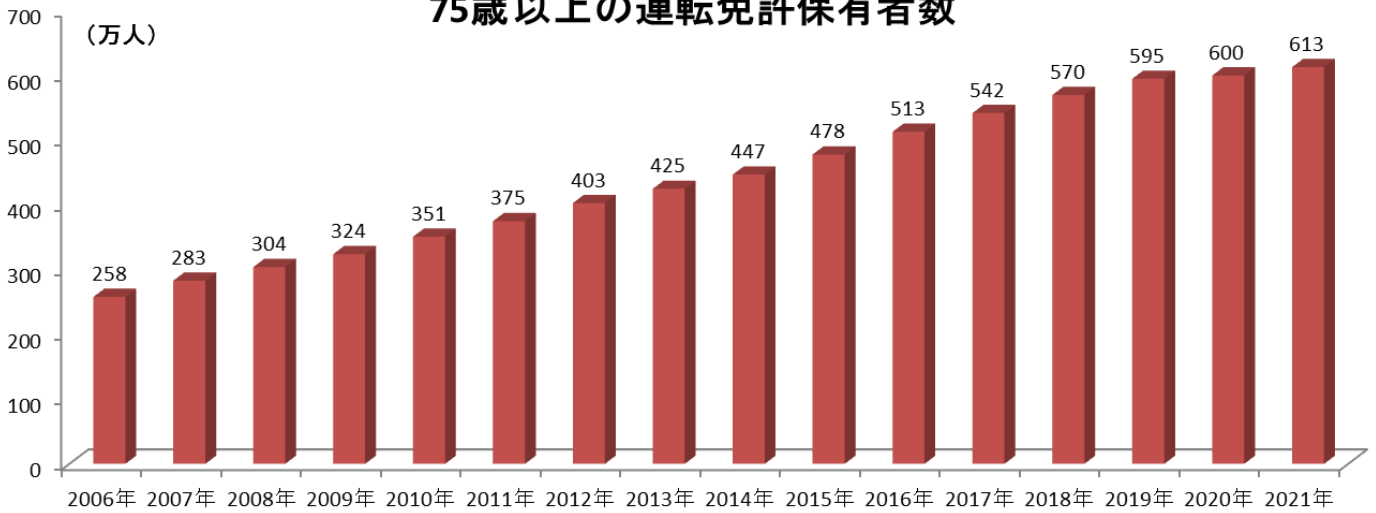


高齢者の自動車事故が注目を集めている



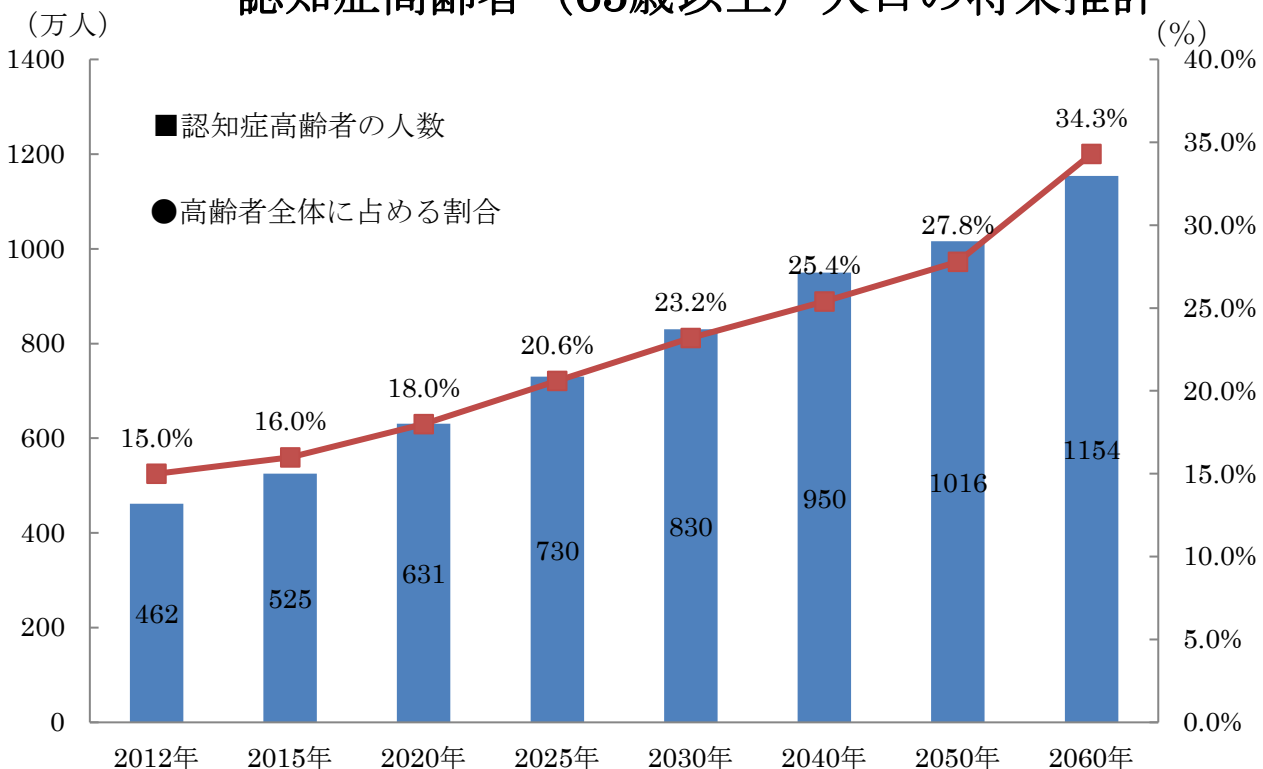
高齢ドライバーが増加する中、逆走やアクセルブレーキの踏み間違い等による事故がクローズアップされています。臨時の認知機能検査が新設された平成 29 年 3 月の改正道路交通施工後の 1 年間で、認知機能検査を受けた 75 歳以上の高齢者 210 万人のうち、5 万 7 千人が「認知症の恐れ」と判定されるなど、高齢者の自動車事故と認知症の関連性が注目されています。

75歳以上の運転免許保有者数



● 出典：内閣府「交通安全白書」（平成 29 年）を基に作成

認知症高齢者（65歳以上）人口の将来推計



● 出典：厚生労働省「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）～」